

防護柵取替工 作業手順

準備工

埋設物がある場合
試掘

既設防護柵撤去

防護柵取付

発生材の片付け

後片付け

内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動)	安全作業指示書による
作業内容、人員の確認	指示書の内容確認
保護具の点検	防護メガネ、ゴム手袋等
使用機械、資材、工具の点検	日常点検の実施(老朽化した部品は交換する)
埋設物の有無の確認	通信管路図の確認
	チェックリストの作成
支柱を交換する時は、埋設ケーブルを確認する為、試掘を行う	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係部署の立ち会いを受ける
支柱が傾き修正で直る時は、試掘(立ち会い)は、不要である	
破損した既設ガードレール、(ケーブル)の撤去	レール、ケーブルの跳ね返り等を十分確認し注意する
	撤去した防護柵、ボルト、ナット等は、現場内の邪魔にならない箇所に整理整頓しまとめておく
	ボルト、ナットの飛散防止を行う
破損した支柱は、支柱の根本へワイヤーを掛けクレーンを使用して、ゆっくり引き抜く	支柱引き抜き時、過荷重によるワイヤーの破断やフックのはずれ等での跳ね上がりに注意する
	抜けない場合は、抜柱機の使用、若しくは掘削すること
新しい支柱、ガードレール等の取付	ガードレール等重量物を持つ場合は、複数人数で声を掛け合い姿勢に充分注意して行き、無理をしないこと
新しい支柱は元の穴へ差し込み、打ち込み機を使用し所定の高さまで打ち込む	クレーン作業時は、作業半径内に十分注意し、有資格者が行う
打ち込み量が少ない時は、大ハンマーにて打ち込み調整する	ハンマーを振りかざす方向は、立ち入り禁止とする
打ち込んだ支柱の高さ、方向の確認	
支柱の傾き修正は、クレーンと滑車を使い、通りを確認しながら行う	
整理整頓された発生材をトラックに積み込む	クレーン作業時は、作業半径内に十分注意し、有資格者が行う
使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する
終礼の実施	ヒヤリハットの実施

注意事項

機械作業は、有資格者が操作を行う
吊り荷の下へは絶対に入らない
ガードレール等重量物は、足などに落下させないように十分注意して取り扱う
防護柵取り外し時は、特に方向、跳ねに注意をして、必ず声掛けを行う
重量物を持つ場合は、複数人数で声を掛け合って姿勢に充分注意して行う。無理はしない
支柱打設や掘削を行う場合は、埋設物の確認を必ず行き、適宜立会確認を受ける
規制内では、作業開始前に避難場所を定めて「避難訓練」を実施する